文 教 委 員 会 資 料

所管事務の調査（報告）

川崎市立労働会館改修工事等及び川崎市教育文化会館解体工事について

資　　料　川崎市立労働会館改修工事等及び川崎市教育文化会館解体工事について

令 和 ７ 年 ５ 月 ２ ８ 日
教 育 委 員 会 事 務 局

川崎市立労働会館改修工事等及び川崎市教育文化会館解体工事について

1　労働会館改修工事等について

（1）工事概要について

ア　工事概要

川崎市立労働会館と川崎市教育文化会館の再編整備に併せて、現在の労働会館を大規模改修し、川崎市川崎市民館・労働会館（以下「川崎市民館・労働会館」という。）を設置するものです。

イ　着工後の経過

労働会館改修工事等については、令和６年３月に工事請負契約を締結、同年４月に工事着手しました。その後、６月に敷地内に地中埋設物が確認されたため、１２月に埋設物の除却等に伴う工期延長と工事費等増額の変更契約を締結し、令和７年第１回定例会において御報告したところです。

①

工事名称	①	建築	労働会館改修工事
	②	電気設備	労働会館改修電気設備工事
	③	空気調和設備・衛生設備	労働会館改修空気調和設備その他工事
	④	舞台照明設備	労働会館改修舞台照明設備工事
	⑤	舞台音響設備	労働会館改修舞台音響設備工事
	⑥	昇降機設備	労働会館改修昇降機設備工事
建物概要	敷地面積	４，９５７．４７㎡	
	建築面積	公会堂：２，８０２．９７㎡、設備棟：３５３．３１㎡、ゴミ置場：１０．９８㎡	
	延べ面積	公会堂：９，６６７．１４㎡、設備棟：３５３．３１㎡、ゴミ置場：１０．９８㎡	
	構造・階数	鉄筋コンクリート造　地下１階・地上５階建て	
② 契約金額合計（当初・税込）		７７億４，１６０万２千円	
当初工期		令和６年３月２５日から令和７年１２月２２日	
契約金額合計（第１回変更・税込）		８４億１，９８２万１，３００円（増額：６億７，８２１万９，３００円）	
第１回変更後完了予定		令和８年７月３１日（約７か月の工期延長）	

【北側道路から見た外観】

【富士見公園から見た外観】

（２）工期延長について

令和７年５月１６日（金）工事監理者・施工者から工期延長の要請あり。

ア　延長期間

少なくとも７か月　⇒　最終的な工期は、現在、工事監理者・施工者間で精査中

イ　延長理由

内装仕上げを解体したところ、「壁や梁などの配管貫通孔等の位置、大きさ」、「梁等の構造躯体等の位置、形状」など、新築時の図面とは異なるもの、記載のないものが見つかり、都度、対応してきましたが、その数が多くなり、改めて、不具合箇所等への対応が必要となったものです。

〈具体的な事例〉

①新築時の図面に記載のない配管貫通孔等の位置や大きさが異なるもの

②新築時の図面と既存躯体で、部材の位置や形状に不整合があるもの

③大ホール新設床スラブに湧水が侵入したもの

④断熱材で覆われていた５階天井の鉄筋のかぶりが不足している部分がある。

⇒　これらの要因から、構造の再検討、設備設計、補修方法や施工方法を慎重に見直す必要があり
検討に時間を要するため工期延長が必要

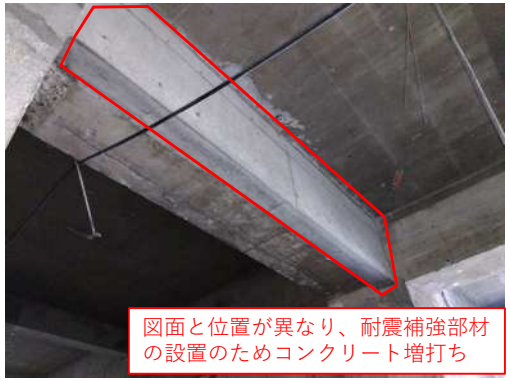
ウ　増額費用

現在、精査中

（３）検討を要する部位の事例

①－１図面にない開口

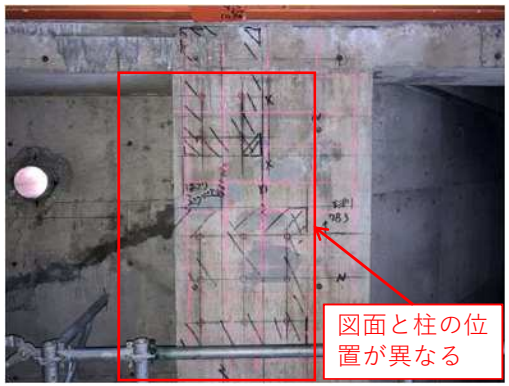
①－２図面にない開口



②－１梁位置の違い

②－２湧水ピット形状の違い

②－３大ホール屋根鉄骨梁の違い



②－４大ホール柱の位置の違い

③大ホール新設床スラブに湧水

④５階天井スラブ下かぶり不足

２　教育文化会館解体工事実施設計について

（１）工事実施設計概要及び工期について

ア　設計概要

労働会館改修工事等が完了後、教育文化会館の市民館機能を労働会館に移転したあと閉館し、解体を行うもので、跡地には、多目的広場を整備する計画です。

⇒「教育文化会館解体工事実施設計委託業務」
令和６年１月１６日着手、令和７年５月３０日完了予定

イ　建物概要

敷地面積	3,752.85㎡
建築面積	3,380.63㎡
延べ面積	14,472.27㎡
構造・規模	SRC造　一部　S造 地上６、地下１、PH３
完成	昭和４２年

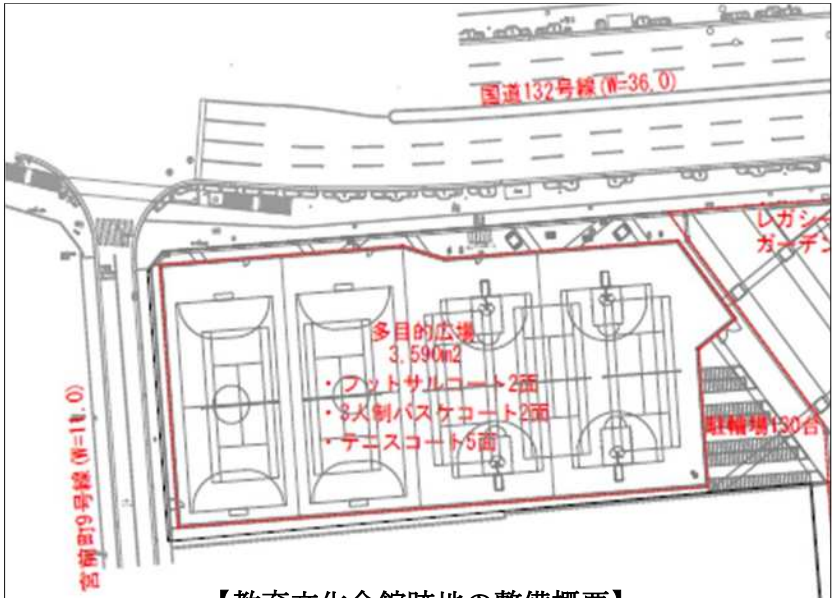
ウ　解体工事期間

実施設計前の概算工期：１４か月⇒実施設計：２０か月

エ　解体工期増の理由

①跡地利用計画に応じた地下躯体解体範囲の確定
実施設計で精査した結果、防球ネット・照明塔の支柱基礎干渉部分の地下躯体解体範囲が明確になったため
②４週８休（週休２日対応）で工程を組み直したため

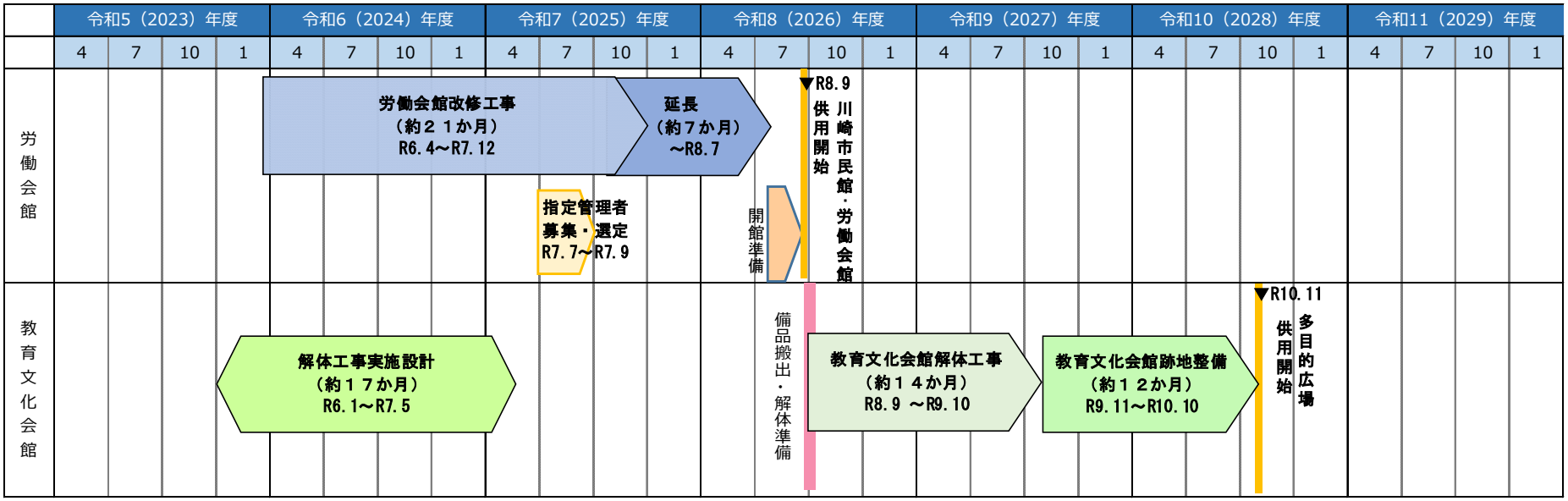
【富士見公園完成イメージパース】



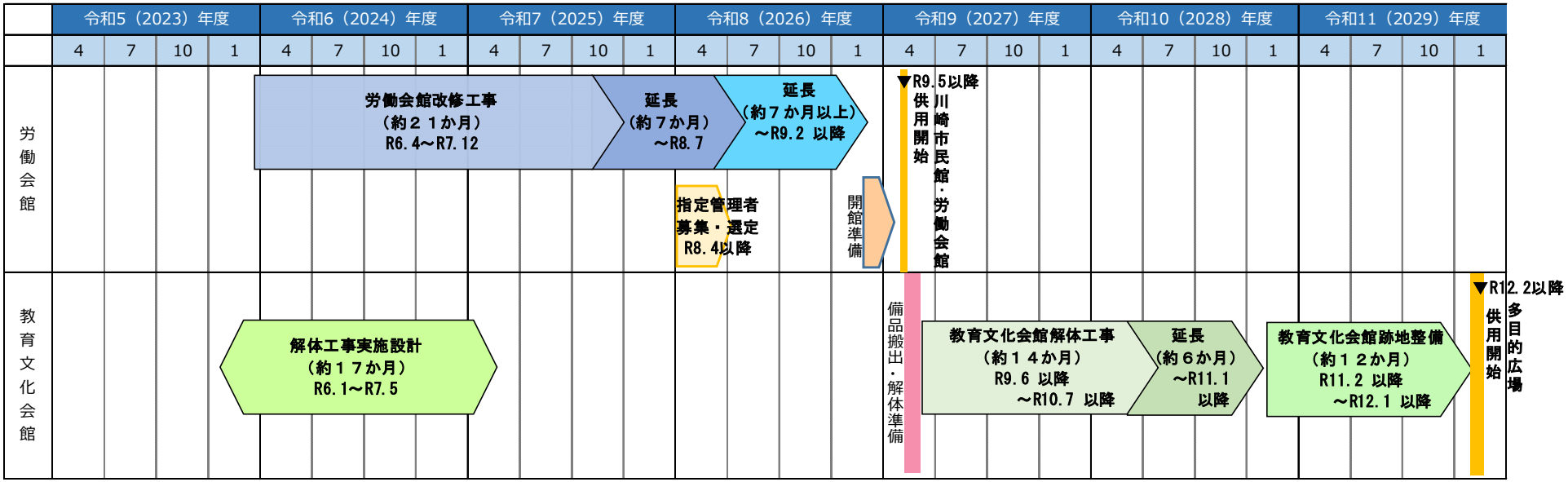
【教育文化会館跡地の整備概要】

3　労働会館改修及び教育文化会館解体工事の全体工期について

【変更前】



【変更後】



これまでの労働会館及び教育文化会館の再編整備にかかる経過について

参考資料

	事項	供用開始 （予定）時期	工事費	供用開始時期の延期、 工事費増額の要因
平成30 （2018）年３月	川崎区における 市民館機能のあり方	平成34 （2022）年度	―	―
平成31 （2019）年３月	再編整備に 関する基本構想	平成34 （2022）年度	―	―
令和３ （2021）年１月	再編整備 基本計画	令和６ （2024）年度	約48.0億円	●特定天井、耐震対策（約２年） ※ホール天井改修、耐震補強工事 等
令和４ （2022）年８月	管理運営計画	令和６ （2024）年度	約49.6億円	●労務費の増額（約1.6億円）
令和５ （2023）年２月	実施設計 （常任委員会報告）	令和7 （2025）年1月	約69.1億円	●物価高騰による増額（約８億円） ●詳細設計による増額（約12億円）
令和５ （2023）年8月	入札不調 （常任委員会報告）	令和８ （2026）年2月	約79.1億円	●再発注に向けた取組、再入札等（約10か月） ●工事期間の変更（約３か月） ●物価高騰及び工期変更による共通費の増額（約10億円）
令和６ （2024）年3月	工事請負契約締結	令和８ （2026）年2月	約77.4億円 （契約額）	―
令和6 （2024）年10月	シートパイルの除却等、 特例措置 （常任委員会報告）	令和8 （2026）年9月	約84.2億円	●シートパイルの除却等（約７か月） ●シートパイル除却等による増額（約2.9億円） ●特例措置による増額（約3.9億円）